



2020年10月15日発行

公益財団法人仙台YMCA
〒980-0822
仙台市青葉区立町9-7
Tel 022-222-7533
Fax 022-222-2952
www.sendai-ymca.org
発行人 / 村井伸夫
編集人 / 松島晃子

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



仙台YMCA国際ホテル製菓専門学校・校長 加藤雄一

「真の国際ホテル製菓専門学校を 目指して」

新型コロナウイルスの拡大は、仙台YMCA国際ホテル製菓専門学校の学生たちにも多くの影響を与えています。就職求人は激減し、例年の3分の1程度しかこの時期で内定していない状況です。授業運営にも影響があり、例年実施しているインターンシップも実施できない状況が続いており、本当に不安ばかりがつのる状況が続いています。With Coronaが叫ばれ、ホテル業界でも新しい運営様式が取り入れられるようになっていきます。しかし、いくら感染防止とはいえ、「接客しないこと」がスタンダードになるとは思いません。人と離れていたからこそ、深いおもてなしの心が求められているのです。学生たちは、日本国内のみならず、世界からのお客様が戻る時のためにおもてなしに磨きをかけるため、不安の中にあっても精一杯の努力をしています。

仙台YMCA国際ホテル製菓専門学校には、ホテル科、ホテルパティシエ科、国際おもてなし科の3学科があり、そのうち国際おもてなし科は、留学生対象の学科です。近年留学生の入学が増加しており、2020年度は、全学生の半数が留学生となりました。主に仙台市内の日本語学校の卒業生で、ほとんどが東南アジアの学生です。



ホテル科および国際おもてなし科は、両学科ともホテル・観光業への就職を目的としています。ホテルでの就職は、国籍の違いによる選考の区別はありませんので、日本人も留学生も企業が求める人材になるために様々な能力を身につけていかなければなりません。(第2面に続く)

仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。
喜びのある生き方をすすめます。
私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。
世界平和の実現に努めます。
私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。
ボランティアの働きを地域社会に広げます。
私たちは、人と人とのかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を広げます。
子どもたちの生きる力を育てます。
私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

業界が求める能力とは、①ホスピタリティ（おもてなし）能力、②外国語を含めたコミュニケーション能力、③積極的な行動ができるリーダーシップ能力の3つに分けられますが、仙台YMCA国際ホテル製菓専門学校では、①はもちろんのこと、②③については、他の専門学校には真似できないカリキュラムで学生たちを育てています。



1. 日本人と留学生の合同授業による相互作用

1週間に12時間ほどの合同授業では、留学生の積極的な姿が、主張する力の不足している日本人学生の良い見本になっています。留学生にとっては生の日本語に触れる良い機会になり、日本語習得スピードが上がります。もちろん、交流を進める中で互いの文化習慣の違いに気が付くこととなります。これは海外に出たことのない日本人学生にとって、YMCAでできる国際理解体験になります。

2. リーダシップトレーニング

YMCAは青少年指導者の育成に力を入れています。子どもたちのプログラムにも多くのボランティアが参加していますが、このトレーニングはキャンプのように100年以上も続くYMCAプログラムを支えてきたもので、現在様々な企業が入り込んでいるグループワークなどの根源をなすものです。そしてこのトレーニングによって就職試験にも役に立つ自己アピールやリーダーシップ能力が育成されていきます。



仙台YMCA国際ホテル製菓専門学校は、「国際」感覚を身につけた学生の育成にさらに力を入れるために、2021年度より、ホテル科に「国際コミュニケーションコース」を設置します。ホテルのサービスに加え、英語を中心とした語学力の更なる向上を目的としています。私たちは、以下のようなアドミッション・ポリシー（入学者選抜方針・求める学生像）をもって10月1日より入学願書を受け付けます。

<アドミッション・ポリシー、求める学生像>

人はみな、生活習慣、伝統、宗教などの異なる背景を持っています。また、それぞれの能力、個性、生き方には違いがあります。そのような一人ひとりの存在に敬意をはらい、それらの違いに気づき、学ぶことの必要性を感じる人とともに学んでいきたいと思えます。私たちYMCA専門学校は、学内外で出会う一人ひとりの違いを受け容れ、長所を見つける場所でありたいと思えます。こうした考えを十分に理解し、地球社会の一員として成長しようとする意欲ある学生を受け容れます。

- ・ 社会で起こっているさまざまな事柄に対して興味・関心をもち、主体的に行動できるようになること
- ・ 他者の考えや主張に耳を傾け、自分の意見を表現できるようになること

これらのことを、学生生活での学習や体験から学び合いたいと思えます。



Y M C Aには息子が小学校1年生の頃からお世話になっております。最初はコミュニティースクールの発達支援プログラムに参加したところからです。その後放課後等デイサービスの「みらい・きぼう」と進み、今年で8年目になりました。最初は息子の特性を受け入れることができないまま、何とか「普通」にできるようになって欲しいという一心で通わせていたように思います。そんな偏った私の思いを否定することなく、いつも親身になって寄り添い支えてくれたリーダー達があります。幼児期に療育に繋がらず、仲間もない状態でしたが、茶話会や親子プログラムの研修会などで他の保護者の方々と知り合い、安心して悩みを話し合うことができました。いろいろなあり方を知ることで、広い視野で物事を考えられるようになったと感じます。

息子はゆっくり穏やかに成長し、現在思春期真っ只中です。体の使い方も上手にできなかったのに、西公園の鬼ごっこで走れるようになったと言っても過言ではありません。Y M C Aの活動はとにかくアクティブですよ！長期休みは毎日のようにお出かけがあり、私が仕事をしている時でも、たくさんの思い出を作ってきます。何より、若くてエネルギッシュなリーダー達に息子だけでなく私も元気をもらっています。今はコロナ禍で難しい状況ではありますが、息子にはこれからもキャンプやスキーなどたくさんの経験をしていって欲しいと願っています。

Y M C Aと私



齋藤 美津子 さん
Y M C A きぼう/齋藤 拓社さんお母様

Volunteer Volunteer Volunteer



柿崎 摂雄 さん
Y M C A 西中田保育園/ボランティア

昨年、保育士の国家試験に一発合格できました。56歳の高齢受験ですが、受験に至った思いを綴ります。

私は、22歳の大手電機メーカー就職以来、不自由は感じない会社生活を送っていました。4年前にY M C A 西中田保育園にボランティアとして参加した時、何故か園児とのコミュニケーションがとても円滑にできる自分に気が付きました（これは衝撃的でした）。それ以降、毎週土曜日の保育園ボランティアで、ツワモノ園児に鍛えられるなかで、その特性に自信が持てるようになり、なりたい自分の姿がだんだん見えるようになりました。皆さんも報道等でご存知のように、少子化、待機児童、保育士不足、幼児虐待等の問題は、今や大きな社会問題です。保育園でボランティアをしているので、幼児虐待の報道に接すると、とても悲しい気持ちになります。そのためか、自分の特性を活かして、子どもたちや保護者の支えになりたいという思いが、年を経るごとに積もってきました。現実には保育士として働くには、家族を含めた精度の高い将来の再設計が必要になりますが、保育士への夢は、これからも持ち続けたいと思います。もし、なりたい自分が見つからない若者がこの記事を読んでいるのであれば、慌てることはありません。ボランティア、アルバイトなどの社会経験を多く積めば、自分の特性を見つけることができます。それが、十年先になるかもしれませんが、アンテナを張って有意義な人生を見つけ、歩んでいきましょう。



一般会員・サポート会員を
随時募集中です

ぜひ会員として、仙台Y M C Aの活動をお支えください

お問い合わせ：本部事務局

TEL:022-222-7634

FAX:022-222-2952

『世界の人々は一つの家族、家族の笑顔のための募金活動を』

第49回国際・地域協力募金特別プログラムはY M C Aの年間を通しての活動です。今期実行委員長を引き受けました仙台ワイズメンズクラブの吉田一恵と申します。

今年は新型コロナウイルス感染拡大による影響、また日本各地を襲った集中豪雨の発生にまわられて、生活に困難を抱えた多くの方々の声を耳にしてお過ごしのことと思います。支援を必要としている人、支援するみなさんの笑顔を決やさぬ様に、プログラムに必要なに応じて手を加えながらプログラムを進めて行きたいと思えます。

残念ながら、2020年度開催予定の「Y M C Aバザー」、「Y M C Aチャリティーラン」、「街頭募金（国際・地域協力募金）」は中止になり、「Y M C Aチャリティーゴルフ」、「仙台Y M C Aクリスマス」は規模を縮小し実施することになりました。そのため木枯らしの吹く街頭での募金へのお願いの園児の優しい声、ご協力を頂いた方々の声を聴くことが出来ません。それでも、支援を必要としている人々はいます。昨年よりも3カ所プラスで10カ所の支援先、そして目標金額190万円を掲げて活動を致します。仙台Y M C Aの使命である、共に生きる社会をめざし、喜びのある生き方を勧めるため、世界の家族のために多くの方々のご協力もよろしくお願い致します。

Column



吉田一恵さん

国際・地域協力募金委員会 委員長
仙台ワイズメンズクラブ

じゃがいも・かぼちゃが届きました！

10月5日(月)13時を少し回ったころ、午前中にはシトシト雨を降らせていた雲を吹き飛ばすように、爽やかな晴天とともに、大きなコンテナを積んだトラックが仙台Y M C Aの園庭に到着しました！立町会館にいたスタッフ皆で力を合わせてじゃがいもやかぼちゃの詰まった重い段ボールを手際よく次々と館内に運び込む姿は、とても遅しく、頼もしさを感じさせるものでした。



今年も仙台Y M C A国際・地域協力募金特別プログラムとして、北海道・十勝の大地で育ったじゃがいも・栗かぼちゃ・玉ねぎを皆様にお届けいたします！！10月6日(火)より販売を開始しておりますので、是非ご購入ください！

このプログラムにより得られる販売利益は、東日本大震災被災地支援・仙台Y M C A子ども支援プログラムなど様々な社会活動に役立てられます。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。



じゃがいも 10KG 2,200円
かぼちゃ 10KG 2,800円
3種詰合せ 10KG 2,800円
★お気軽にお問い合わせ下さい★



維持会費

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

(9月1日～9月30日)

◆一般会員

・維持会員 A会員/10,000円、B会員/20,000円、C会員/30,000円

A会員 村田陽子さん 横倉純さん 松本京子さん 稲本敬夫さん